

# 市民文芸

## 教室紹介

多久市民大学「ゆい工房」

### ルミナスウインドオーケストラ



音楽の地産地消で、市民に親しみやすい音の芸術を提供！  
団員も募集中です

▲平均年齢30歳と若く、多久市を拠点に活動するメンバー。9月5日の『多久市重謡の集い』でも演奏のみなさんは輝いていました

今年4月に誕生した『ルミナスウインド オーケストラ』は、多久高や小城高など吹奏楽部OBの市民を中心とした27人で結成された吹奏楽団です。団名は、輝きの意味を持つルミナスに思いを込め、「奏でる人や音の輝きで、聴く人たちも輝いてほしい」と命名。多久高校の梅崎和弘教諭が指導や指揮者を務め、毎週金曜の夜、中央公民館大ホールス

テージで練習を重ねます。6月のお披露目コンサートを手始めに、多久市民が楽しめる機会を主に作りながら、県内のイベントへと活動は拡大中。レパートリーは、クラシックは勿論、童謡から歌謡曲などと幅広く、「将来は、市内のコーラスグループなどとコラボしたミュージカルなども実現したい」と、夢のある活動に積極的です。

## 短歌

昨夏まで苦もなく訪いし 佐賀の街気だるさ覚ゆいまさらの年輪

この暑さいくら好きとはいながら 子は富士登山喜び行きぬ

夏帽子まぶかにかぶり ジョギングの速歩の人ただ 「こんにちは」

「おはよう」と声の主は女の子 見返れば早も朝光の中

千年の歴史を秘めし 阿修羅像匠の技は眼に宿り

《夏の芽短歌会 五選》

迎 寿代

本田 静香

田淵ミチ子

栗原 瑛子

川浪 信子

## 俳句

秋風や昼を灯しぬ 小間物屋

風の色散らして揺れる 秋桜

沢蟹の這いつつ胎の子 零しゆく

風わたる 一木一草 秋に入る

一筋の雲の伸びゆく 秋の空

《あざみ句会 五選》

大石ひろ女

中嶋 清子

武富 律子

光野 正子

中尾 和弘

## 川柳

新名所思わぬ人と 録合わせ

絵手紙に元気な朱を 染み込ませ

柳に風抵抗せずに 生きる術

本を読む秋の夜長の 幸の時

高原の涼風浴びて 露天風呂

《多久川柳会 選》

成富よう平

井上 東子

大谷 和

古賀ちひろ

猪ノ口昭子

## No. 151 人生に 生きたる

「私を創った人」

あなたを「創った人」（自分にとって大切な人、あなたの人生に大きな影響を与えた人）を思い出してください。その人について、次のような視点を参考に書きだしてみましよう。

たとえば、あなたがその人にしてもらったこと、教えてもらったことはどんなことですか？その人を困らせたこと、迷惑をかけたことはありますか？その人にしてあげたかったことはありますか？

私の場合は次のとおりです。

私を「創った人」はある先輩だ。いつも誰に対しても気配りを忘れない。目をみながら話を聴いてくれる。「自分に出来ることは何？」と常に考えている。そして「雑務を雑務で終らせない。雑務も心を込めてやれば立派な仕事になる」と教えてくれた。

その人の仕事はとてもスマートだ。コピーをとるのもプリント面が紙にまっすぐ入っている。ホチキス止めもきちんとされている。

私には、ただそれだけのことなのにとても難しいことだった。その人にしてあげたいことは成長した自分をみせてあげたい。だから今はまだまだ修行中。

原点を見つめると、人の優しさや思いやりで支えられているんだなあ と改めて気づかされました。

社会教育指導員 野中久美子